

## 平成30年度大田原市男女共同参画推進事業者表彰

問政策推進課 本6階  
TEL(23)8715

本市では、男女が互いを尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を發揮できる働きやすい職場づくりに取り組んでいる市内事業者を称えるための表彰制度を設けており、本年度は次の2事業所を表彰いたしました。

### 【表彰基準】

①性別にとらわれない能力活用や女性の職域拡大②仕事と家庭、その他の活動との両立支援③男女の人権に配慮し、ともに働きやすい職場環境づくり④その他、男女がともに参画できる社会づくりに向けての積極的な取組

### ■富士電機機器制御株式会社大田原事業所

◆所在地 大田原市中田原

◆業種 電気機器製造業

◆取組内容

#### ●技能実践道場を新規開設

製造主任経験のある上級社員が、新規入職者に対して集中教育をする「技能実践道場」を開設。技能実践道場を経て製造ラインへ正式配属されるため、男性従業員のみならず、製造経験・工場経験のない女性従業員も配属後におけるギャップの発生が抑制され、早期離職防止に貢献しています。

#### ●配偶者出産社員へ個別フォロー

2020年度配偶者出産休暇取得率90%を目標に、対象となる社員への相談などの個別フォローを行い、確実な休暇取得を推進しています。

#### ●ダイバーシティ啓発教育を実施

性別や国籍のみならず異なる信条や考え方を互いに受容する「ダイバーシティ意識」を醸成するため、全社員に対し集合教育や確認テスト、また階層別にセミナーなどを積極的に実施しています。

#### ●シスター制度を導入し、女性社員のキャリアアップを支援

上級の女性社員が他部門の女性社員に対してアドバイスをする「シスター制度」を導入。先輩社員が具体的にどのようにキャリア形成しているかを知ることにより、女性社員の不安を解消しキャリアアップへの自信へとつなげています。

### ■大田原信用金庫

◆所在地 大田原市中央一丁目

◆業種 金融業

◆取組内容

#### ●女性活躍推進会議を設置

女性職員が、より魅力的なビジネスウーマンとして働き続けるための職場環境づくりを目指し、女性活躍推進会議を設置。これまで、「一般事業主行動計画」策定、「信用金庫におけるワークライフバランス推進の手引き」作成、「女性キャリアアップ宣言」などを行っています。女性職員対象の研修も実施されており、役員および管理的地位にある者に占める女性の割合は、近年増加傾向にあります。

#### ●各休暇制度による「仕事と生活の調和」への支援

育児に関する休暇として、産前産後休暇・育児休業制度・復職後の短時間勤務制度があり、2015年度から2017年度の育児休業取得率は100%となっています。これらの制度を利用して働き続けている女性職員が増えてきたことで、制度を利用しやすい雰囲気づくりの一端を担っています。また、全職員を対象とした休暇として、連続休暇(5日間)の取得促進を勧めています。

#### ●「全店統一定時退庫日」を実施

週1日の「全店統一定時退庫日」を実施することにより、残業時間が減少傾向にあります。退庫後のゆとりのある時間は、心身のリフレッシュや自己啓発に充てられています。

### 野崎・佐久山・湯津上地区

## 4月からデマンド交通「らくらく与一号」運行開始

問生活環境課 本2階 TEL(23)8832

### ■デマンド交通運行に向けて事前登録を受け付けます。

運行地区内の方においては、デマンド交通をご自宅近くから利用するため、事前の登録が必要です。運行開始に向けて、2月12日(火)より受付を行います。登録後に自宅近くのデマンド交通バス停を設置しますので、お早めに登録をしてください。

●登録方法…下記の窓口または市ホームページより「大田原市デマンド交通利用登録票」を取得し、必要事項を記入の上、郵送、FAXまたは直接提出してください。

▶窓口提出の場合…生活環境課、湯津上・黒羽支所総合窓口課、野崎・佐久山・湯津上地区公民館

▶郵送の場合…〒324-8641 大田原市本町1-4-1 大田原市生活環境課生活交通係

▶FAXの場合…(23)8923

●運行区域…▶野崎・佐久山地域デマンド交通：野崎・佐久山の2地区内を運行します。

▶湯津上・黒羽地域デマンド交通：湯津上・黒羽・川西・両郷・須賀川の5地区内を運行します。

※指定の行き先・運行時間・運賃は広報3月号にてお知らせします。

■市営バス路線の変更…▶4月1日より、市営バス「佐久山・親園線」、「金田方面循環線」、「野崎方面循環線」、「那須塩原駅線」、「蛭田・湯津上線」の経路を一部変更します。経路・運行時間は広報3月号にてお知らせします。

○市営バス「黒羽・佐久山線」「佐久山・野崎駅線」は、4月1日からデマンド交通に切り替わります。通勤通学でご利用のお客さまは、個別にご相談ください。

■確定申告会場での相談窓口設置…野崎・佐久山・湯津上地区の確定申告の日程にあわせて相談窓口を設置しますので、お声掛けください。窓口設置日(※)については本紙10ページをご確認ください。



# グリーン・ツーリズム通信

一緒に農家民宿をはじめませんか？  
農家民宿について情報を発信しています。 No.8

問 商工観光課 本 4階 TEL(23)8709

今月号では農家民宿の魅力をお伝えするため、農泊実践者にお話を伺いました。インタビューに応じてくださったのは、小沼 順子さんと松本 芳宏さん夫婦です。どちらも農泊を始めて1年が経ちます。

## ■松本 芳宏さん・かほるさん

### Q 家族構成について

A 夫婦二人暮らしです。会社を定年後、大田原市に移住しました。

### Q 農泊を始めたきっかけ

A 市広報紙を読んで

### Q 事前に準備したもの

A 受入れ人数分(4人分)の布団類、食器類や農作業用の手袋・鎌を購入し10万円ほどかかりましたが、2回の受け入れで回収できました。

### Q 報酬について

A 年金暮らしのため副収入があるのは助かっています。※2泊3日で5人を宿泊させた場合、72,000円が支払われます。受入内容によってお支払額が変更します。

### Q 地域への配慮について

A 地域の皆さんに安心してもらえるよう、農泊を始めることを事前に報告しました。

### Q 食事について

A 自分たちが食べるようなシンプルなものを作るようにしています。塾に通っているなど家族で食事を囲む機会が少ない子どもも多いようで、喜んで食事をしてくれています。

### Q 農業体験について

A ブルーベリーの箱作りやシール貼りは助かっています。

### Q 松本さんにとって農泊の魅力とは

A 農泊を通して子どもたちに様々な体験を提供できることに魅力を感じています。帰り際の「また来るね」がもう一度受けたいと思わせてくれます。

### Q 農泊をやりたい、興味を持っている方にアドバイス

A 最も気になるのは食事に関することですが、豪華な食事を用意する必要はありませんし、怪我や病気になった場合を考え不安に思うより、まずは受け入れてみてはいかがでしょうか。きっと農泊の魅力に気づくはずですよ。



## ■小沼 順子さん

### Q 家族構成について

A 主人と二人暮らしです。敷地内に息子夫婦と孫がおります。

### Q 農泊を始めたきっかけ

A グリーン・ツーリズムの研修会に参加し、興味を抱いたため。

### Q 家族の反応について

A 家族会議を開き全員の賛成を得ました。農泊という共通の目標が家族の一体感を生み出してくれています。

### Q 宿泊部屋について

A 空き部屋を利用しています。マンション暮らしが多い都会の子どもにとって一軒家は魅力的なようです。

### Q 布団や枕について

A 布団はもともとあったものを利用していますが、枕だけは新たに購入しました。

### Q 農業体験について

A 野菜の種まきや収穫を体験させています。時期によっては農具の洗浄や草むしりをお願いしています。都会の子供たちは土に触れる機会が少なく、家庭菜園があれば十分喜んでもらえます。

### Q 他人の子どもを預かることについて

A 自分の子以上に気を遣いますが、有事の際は大田原ツーリズムが対応してくれるので受け入れに集中できています。普通の生活を送っていれば問題ないと感じています。

### Q 海外の学生の受入れについて

A 海外の学生は国から選抜されているため安心して受け入れています。家族にとってもさまざまな文化に触れる良い機会と考えています。

### Q 小沼さんにとって農泊の魅力とは

A 受け入れた子どもたちと気持ちが通じ合ったときに喜びを感じます。子供たちの感性に日々元気をもらっています。



## ○まとめ

取材を通して、家族全員で楽しみながら受け入れている様子が伺えました。学生だけでなく、ホストファミリーにも良い影響があるのが農泊の魅力です。

豪華な食事を用意する必要はなく、毎回受け入れる必要もありません。ご家庭の事情でスケジュールを組んでいただけます。

何より農泊は地域の活性化に繋がる事業です。地域に子どもたちの声が聞こえてくれば、きっと活気が出てくるに違いありません。一緒に農家民宿をはじめませんか。